



小江原小学校だより

# 光満つ丘・空と風

令和6年9月2日号

文責：秋山壽哉



## 「夏休みに身に付けた力を2学期へ」

第2学期が始まりました。

今年も暑い日が続きました。「危険な暑さ」という言葉… もっと暑くなったら、どのように表現するのでしょうか。そして、935ヘクトパスカルという異常な強さで日本に接近した台風10号…。国連のアントニオ・グテーレス事務総長が発した「地球沸騰化時代」を象徴しているかのようです。

そのような中、子どもたちが笑顔で学校に帰ってきてくれたことは、私たち教職員にとって、何にもまして、ありがたいことです。

台風10号の接近に際し、お願いの文書をテトルにて配信いたしました。保護者やご家族の皆さまには、配信内容をご確認いただき、適切にご対応いただきました。このように、夏休み期間中も温かく丁寧に子どもたちを導き、保護者面談や登校日など学校の教育活動にもご理解とご協力をくださいました保護者や地域の皆さまに、感謝の気持ちでいっぱいです。誠にありがとうございました。

### ①時間を大切に使う力

・44日間は、1日1日の積み重ね。

### ②自分の健康や命を守る力

・『いのち』は『ほうせき』

### ③家族や地域の人に感謝される力

・家族の役に立つことをする。地域の人にあいさつや行動で、元気を与える。家族や地域の人に感謝される小江原っ子。

家庭や地域で過ごす子どもたちの姿はいかがだったでしょうか。

身に付け、高めた力を、これからの学校生活に活かし、様々な教育活動において「目標」もって力強くチャレンジしてくれることを期待しています。

なお、お子様やご家庭のことで、不安や心配に感じてもらえることがありましたら、学校にご相談ください。

## 「『もっと素晴らしい』新しい小江原小学校をつくる『実りある』2学期に」

本日の始業式では、校長講話として、以下のことを話しました。ご家庭でも話題にさせていただきます。

### 【目標の壺・努力の水】

目標は、人によって様々です。  
皆さんの目の前にあるのは、「目標の壺」です。  
この壺の中に「努力」の水を入れていきます。  
バケツの中には、努力の水が入っています。

努力の水は、バケツの中に入れてきたままでは、意味がありません。努力のバケツから、努力の水をくみ取り、目標の壺へとゆっくり、丁寧にを入れていくことが大切です。

(失敗して水がこぼれ落ちる…)

ああ、失敗することもありますね。

1杯1杯、努力の水を移していきます。

これは、「小さな『できた』」という喜びを味わうことの繰り返しです。

このように、努力して、努力して、努力をし続けても、なかなか結果が出ないときもあるでしょう。

でもね、それは、決して「ムダ」ではありません。

外からは見えないだけなのです。

皆さんの努力の水は、目標の壺の中に、確実にたまっていきます。だから、あきらめないでください。

正しい努力の積み重ねは、目標達成への大きな力です。

2学期の終わりには、目標の壺を努力の水でいっぱいにした、小江原っ子の笑顔と自信という「実り」でいっぱいになることでしょう。

一人一人の力を合わせて、みんなが、みんなが『もっと素晴らしい』新しい小江原小学校をつくりましょう。

小江原っ子の生命と安全を守ることを第一に考え、かけがえのない「今、この瞬間」を子どもたちが存分に体験し、学びを積み重ねていけるよう、今できることを追求し、取り組んでいきます。

教育活動の推進にあたっては、今後も保護者や地域の皆さまと共に進めてまいります。

2学期も、ご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願いたします。